



## このひと

社会福祉学科 1986年(昭和61年)卒  
**武藤 八寿子さん (新36)**

専業主婦から医療ソーシャルワーカーへ  
きっかけはみどり会です!



出産で家庭に入った後、一念発起して社会福祉士の資格を取得。現在は医療ソーシャルワーカー(MSW)として活躍されている武藤八寿子さんを紹介します。

大学卒業後日本IBMでプログラマーとして働き、出産をきっかけに退社しました。

◎専業主婦から働くママへのきっかけは?

次男が幼稚園に入ると自分の時間が持てるようになり、社会と関わりたいと思い始めました。その頃みどり会ニュースの求人募集でホームヘルパー2級講座の添削の仕事を見つけました。家事・育児に支障が出ない在宅での仕事に巡り合えたことは本当にラッキーでした。3年ほどその仕

事を続けるうちに次男が小学生になり、外に出て働きたい気持ちが強くなりました。そして再び、みどり会ニュースで長寿社会文化協会(WAC)でのアルバイトに出会いまして。一番々瀬康子先生が会長



この協会での仕事を通し、多くの素敵な先輩方と出会い、たくさんのお仕事を学びました。  
◎その後社会福祉士の資格を取られたのはなぜ?  
卒業時には思ってもいなかった社会福祉関係の仕事を感じ

### <プロフィール>

- 1986年 日本女子大学社会福祉学科卒業  
日本IBM株式会社入社
- 1996年 NHK学園 添削アルバイト
- 1999年 社団法人 長寿社会文化協会勤務
- 2009年 社会福祉士取得  
横浜宮崎脳神経外科病院勤務
- 2014年 古川病院勤務
- 2015年 介護支援専門員取得

がつけば10年ほど続けていました。そんな時、私にも社会福祉士受験の資格があるので、私にはその資格がなく、本当にがっかりしました。その後、長男が大学受験のために勉強する姿を見て、私も頑張ってみようと2年間の通信講座受講を決心しました。

◎社会福祉士の資格を得てからは?

無事国家試験に合格した後、別の病院勤務を経て、2年前から横浜市の古川病院でMSWとして働いています。MS

Wは患者さんと病院を繋ぐ仕事です。医療費・家族・仕事・生活面の不安など様々な問題に対し、法的サービスや他の医療機関・施設への紹介など、それぞれ違う悩みに答えていかなければなりません。大変なこともあります。患者さんやご家族から「ありがとう、武藤さんに出会えて本当に良かった」と言ってもらえることが、この仕事をしていて一番の励みです。一人一人の患者さんの気持ちに寄り添いながら、病院や社会との懸け橋になれるようにと願いながらこの仕事を続けています。

◎再び社会に出たいと思ってる後輩にエールを!

家庭にいても情報は周りにたくさんあるので、アンテナを思い切り張っておいてください。必ずあなたの求める情報が手に入り、行動に移す時が訪れます。頑張ってください!

取材・構成・文 石川尚子(新29)

三原孝子(新31)

